禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B1

「中央職業能力開発協会編」

令和６年度 技能検定
２級 園芸装飾 学科試験問題
(室内園芸装飾作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　ヤシ類の大鉢の手入れに使用する鋏（はさみ）の種類は、刈込鋏（ばさみ）である。

2　突棒や竹べらは、鉢上げに使用する道具である。

3　インドアガーデンの地被材には、一般に、山苔を使用しない。

4　インドアガーデンの撤去の順序は、製作の順序の逆に行うとよい。

5　蛇紋砂利は灰緑色であるが、水にぬらすと鮮緑色に見える。

6　インドアガーデンでは、植物を傾けて使用してはならない。

7　インドアガーデンにおいて、僧都（そうず）は、水にかかわる添景物の一種である。

8　イヌマキは、萌芽力が弱いため、刈込み整形ができない。

9　サンセベリア・ローレンチーは、冬期の低温時でも十分に給水する必要がある。

10　ニッコウヒバの生育は、カマクラヒバの生育よりも早い。

11　ヤシ科の植物は、胴吹きしない。

12　重量制限がある常設インドアガーデンに土を必要とする場合には、パーライトを混用するとよい。

13　ツル植物の支柱として使用するヘゴ材とラワン材の耐久性は、ほとんど変わらない。

14　織部灯籠（とうろう）には、台石がない。

15　カラマツは、常緑樹である。

16　アオキは、高木である。

17　ポインセチアは、トウダイグサ科の植物である。

18　鉢植えの水しろは、一般に、鉢径の20～25%がよい。

19　栄養繁殖の利点は、同一の形質の苗を得られることである。

［A群（真偽法）］

20　クロトンノキは、20℃前後でも生育する。

21　日本国内において、雨水は、一般に、土壌の中に入ると土壌を弱アルカリ性にする。

22　石灰硫黄合剤は、病害虫を防除する農薬である。

23　モザイク病は、主として、根に発生する病気である。

24　積雪地方以外のガラス温室の屋根こう配は、25～30度程度が多い。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、脚立の脚と水平面との角度は、75度以下にしなければならない。

［B群（多肢択一法）］

1　ささらの材料として、一般に使用されているものはどれか。

イ　笹の葉
ロ　竹
ハ　鉄
ニ　陶器

2　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

インドアガーデンにおける主景物などの根元近くに添えて、引き立てて、まとめる役割をする材料を、(　　)という。

イ　縁取り材
ロ　根締め材
ハ　地被材
ニ　附属資材

3　ハナキリンの分類として、正しいものはどれか。

イ　トウダイグサ科
ロ　マメ科
ハ　クワ科
ニ　オシロイバナ科

4　日本庭園の水辺の下草として、適切なものはどれか。

イ　アイビー
ロ　セキショウ
ハ　ポトス
ニ　ポーチュラカ

5　サトイモ科における次の植物のうち、仏炎苞(ほう)の花を主に観賞するものはどれか。

イ　アンスリウム
ロ　ポトス
ハ　ディフェンバキア
ニ　セロウム

6　地被材として使用する装飾用バークの原材料として、適切なものはどれか。

イ　樹皮
ロ　金属
ハ　石
ニ　プラスチック

［B群（多肢択一法）］

7　次のうち、インドアガーデンの縁取り材として、適切なものはどれか。
　イ　パーライト
　ロ　山苔
　ハ　砂利
　ニ　丸太

8　トレリスに関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　目隠しを兼ねる。
　ロ　擬木仕上げをする。
　ハ　つる性の植物を絡ませる。
　ニ　木材で格子状に組む。

9　耐アルカリ性が強く、サンゴ礁が隆起した島に自生する植物はどれか。
　イ　スギ
　ロ　ガジュマル
　ハ　ナツメヤシ
　ニ　カラディウム

10　一般に、秋播き植物でないものはどれか。
　イ　ストック
　ロ　キンセンカ
　ハ　サイネリア
　ニ　ケイトウ

11　切り花の寿命を長くするための方法として、適切でないものはどれか。
　イ　花瓶の水に砂糖と酢を加える。
　ロ　茎を毎日切り戻す。
　ハ　リンゴやバナナを近くに置く。
　ニ　花瓶の水を毎日替える。

12　葉序が互生の説明として、正しいものはどれか。
　イ　各節に1枚の葉がつく。
　ロ　各節に2枚の葉がつく。
　ハ　各節に3枚以上の葉がつく。
　ニ　節間が短縮して、葉が群がって出ている。

13　葉の形態を表す用語として、正しいものはどれか。
　イ　胚珠
　ロ　鋸歯
　ハ　子房
　ニ　柱頭

［B群（多肢択一法）］

14　モチノキ科の植物はどれか。
　　イ　ネズミモチ
　　ロ　イボタノキ
　　ハ　ヒイラギ
　　ニ　クリスマスホーリー

15　ストレリチア・レギネが属する科はどれか。
　　イ　ゴクラクチョウカ科(バショウ科)
　　ロ　ショウガ科
　　ハ　ヤシ科
　　ニ　サトイモ科

16　次のうち、シダ植物はどれか。
　　イ　ユッカ・エレファンティペス
　　ロ　ベゴニア
　　ハ　ポトス
　　ニ　アビス

17　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
　　鉢上げの際、底土の深さは、水しろと(　　)の関係で決定する。
　　イ　樹高と根鉢(根玉)の径
　　ロ　植木鉢の径と根鉢(根玉)の高さ
　　ハ　根鉢(根玉)の高さと植木鉢の深さ
　　ニ　樹高と葉張り

18　観葉植物を植え替える時期として、一般に、適切でないものはどれか。
　　イ　 1月～ 2月
　　ロ　 4月～ 7月
　　ハ　 8月～ 9月
　　ニ　10月～12月

19　次のうち、有性繁殖法はどれか。
　　イ　種子
　　ロ　挿し木
　　ハ　取り木
　　ニ　分球

［B群（多肢択一法）］

20　次のうち、大気汚染に強い植物はどれか。
　イ　キョウチクトウ
　ロ　アカマツ
　ハ　スギ
　ニ　イロハモミジ

21　苔玉や石付けに仕立てる際に、使用される主な用土はどれか。
　イ　腐葉土
　ロ　ピートモス
　ハ　山砂
　ニ　ケト土

22　室内に飾られる鉢植木の肥料として、適していないものはどれか。
　イ　化成肥料
　ロ　油粕肥料
　ハ　液体化学肥料
　ニ　無機質肥料

23　根付きの植物を外国へ持ち出す場合、許可の申請先として、適切なものはどれか。
　イ　園芸試験場
　ロ　農林試験場
　ハ　植物防疫所
　ニ　植物研究所

24　植物の栽培における暖房方法として、多用されているものはどれか。
　イ　温風
　ロ　蒸気
　ハ　電熱
　ニ　ガスストーブ

25　皮膚炎を起こしやすい植物はどれか。
　イ　プリムラ・オブコニカ
　ロ　シャコバサボテン
　ハ　ドラセナ
　ニ　オオタニワタリ